

# 世界の学会から～インタフェース編

---

福地健太郎（科学技術振興機構）

# 自己紹介（職歴）

---

- 独立行政法人 科学技術振興機構  
ERATO 五十嵐デザインインタフェースプロジェクト  
研究員
- 2004 東京工業大学大学院博士後期課程  
単位取得退学（2006年博士号取得）
- 2004～2008 電気通信大学 助教
- 2008年より現職
- 詳しくは Web で：  
<http://megai.net/fukuchi/>

# 自己紹介 (これまでの研究)

---

- EffecTV
- SmartSkin を用いた入力システム
- Laser Trail Tracker
- その他、電気通信大学小池研究室での研究

# 新インタフェース、三機種揃い踏み

---

- XBOX 360
  - Project Natal
- PlayStation 3
  - PsEye + モーションコントローラ(仮称)
- Wii
  - Wii モーションプラス
  - Wii Vitality Sensor

# インタラクションにこだわる訳

---

- 新しい体験
- 出力側の飽和
  - スプライト数・解像度・色数・ポリゴン・HDR...
  - グラフィックス表現の向上にも限界が見えてきた
  - しばらくは Full HD 以上に行きようがない
- 入力側の「性能向上」の方向性は？
  - 人間の体の動きを最大限取り込んでいく

# インタフェース分野の動向

---

- 純粹GUIの研究は減少傾向
- 応用分野を求めて、生活や娯楽の場面への浸透を目指す
- ハードウェア・ソフトウェアの両方を巻き込んだ両輪の改良
- 「よいインタフェース」の基準の推移
  - 操作効率だけでは測れない
  - 「楽しい」「気持ちいい」をどうやって計測するか

# 学会動向

---

- 海外

- 専門とする会議では CHI・UIST が双璧
- SIGGRAPH でも活発
- ACE(エンタメ), NIME(音楽), iTV(放送) など他分野、また Tabletop のような専門性の高い分科会も

- 国内

- インタラクション・WISS が双璧
- 情報処理学会HCI研究会が牽引役
- ヒューマンインタフェース学会が、社会学など幅広い学問分野を収容

次は、ボストンです

# ACM CHI

---

- **Computer-Human Interaction**
- ACM **SIGCHI** が主催
- 毎年4月上旬、5～6日間開催
- アメリカ大都市・最大級コンベンションホール
- インタラクション業界では最大規模
  - 参加者: 2000人
  - フルペーパー: 150件以上
  - デモ: 2～30件程度?

# CHI2009



# CHI: 特徴

---

- インタラクション分野では最大権威
- とにかく論文数が多い
  - 全部目を通すのはムリ
- 評価実験による実証・裏付けを強く求められる
  - 逆にいうと、産まれたて、新規性の強い研究はあまり評価されず、表に出てこない
- 社会学系の研究多し
  - エスノグラフィー的な研究が流行中

次はスイス、モントルーです

# ACM UIST

---

- **U**ser **I**nterface **S**oftware and **T**echnology
- ACM SIGCHI と SIGGRAPH が主催
  - ペーパー: 30～件
  - デモセッション: 20～件
- 今年は10月5～7日@ビクトリア(カナダ)
- アメリカ・ヨーロッパ都市部またはリゾート

# UIST: 特徴

---

- インタフェースの中でも、GUI や入力デバイス、アプリケーションが中心
- CHI とは異なる性格
- 人数を絞りこみ、2泊3日の濃い議論を参加者どうしとするのが目的
  - シングルセッション(同時には発表は一つ)
- 比較的新しい、面白い研究を取り上げる
- ものづくりが好きな人達が集まる

次は、神戸です

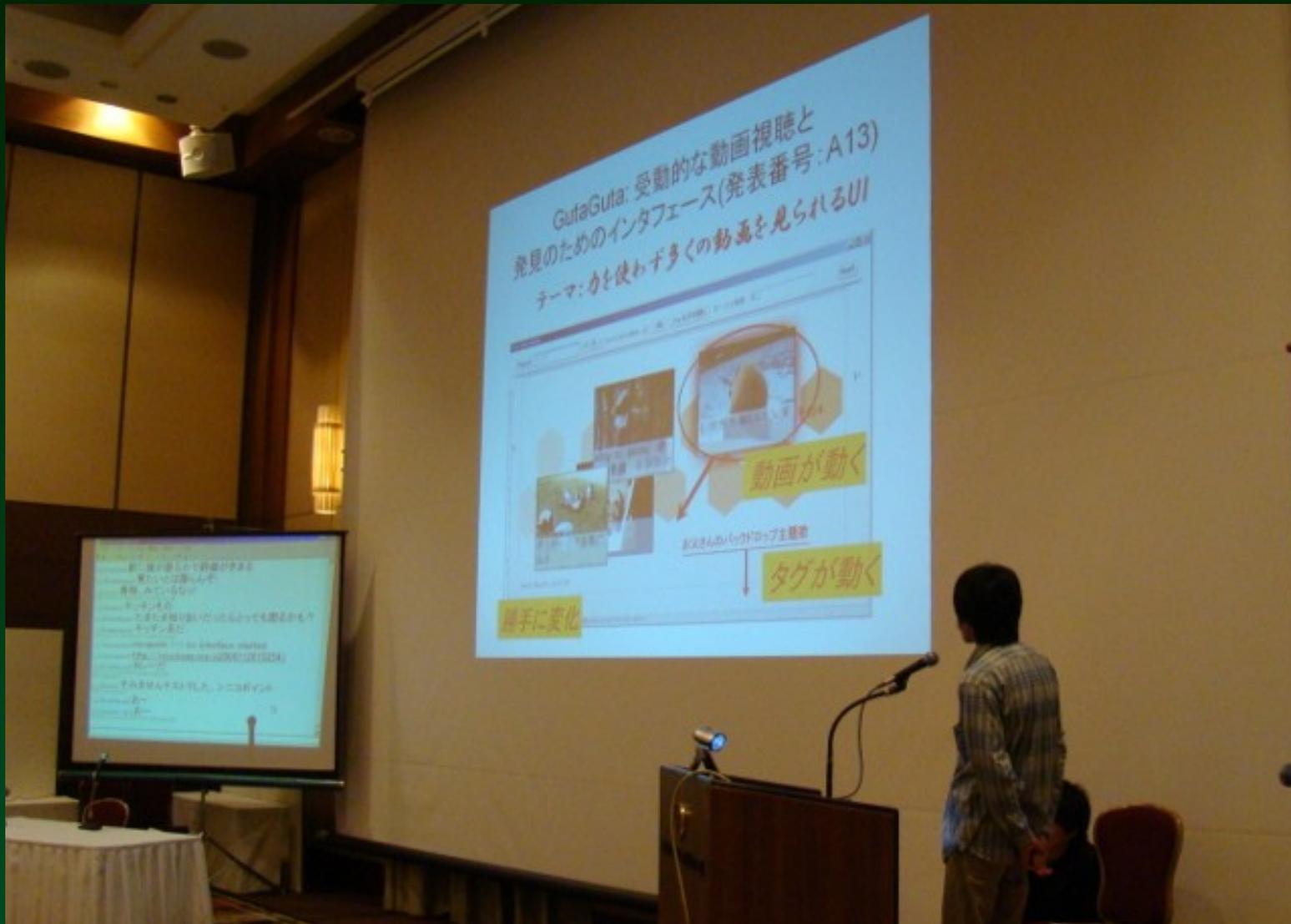
# WISS

---

- 「日本のUIST」
- 日本ソフトウェア科学会が主催
- 2泊3日、僻地に隔離して熱い議論
- 今年は12月2～4日@熱海
- 年々参加者が増大傾向
  - 160人前後あたり
  - 学生・大学教員がほとんどだが企業からも若干名
- 夜を徹してのナイト・セッションが人気

# WISS2008





# WISS: 特徴

---

- 濃ゆい議論をしたい人が集まる
  - 論文発表中にみんなでチャット
- 「面白くなきゃ意味がない」
  - 評価実験よりも「共感できる」論理や、一発で納得できるデモで説得する
- 質疑応答が長い
- ナイトセッションでさらにディープな議論に
- 論文はすべてダウンロードできます!!
  - <http://www.wiss.org/>

次は終点、東京です

# インタラクション

---

- CHIに相当
- 情報処理学会HCI・GN・UBI研究会主催
- 参加者650人規模
  - こちらも増加傾向
- インタラクティブセッション(デモ)が大人気
- 毎年3月上旬に東京で開催

# インタラクシヨン2009



# インタラクシヨン:特徴

- 60件を超えるインタラクティブなデモ
  - 一年間の国内インタラクシヨン研究の総決算
  - ここさえ見れば研究動向がわかる
    - 「インタラクティブ東京」も見れば完璧!
  - 実は **SIGGRAPH E-tech** に出てくるようなものは、これらを見ておけば面白いものは一通り見られる?!
- 企業からの参加者多数
- 論文発表では、比較的固い研究が集まる